

連載 第2回 『試聴室探訪記』

～谷口ともりの、魅惑のパノラマ写真の世界～  
那須高原のログハウス・リスニングルーム

フォトグラファー 谷口 ともり

編集委員 森 芳久

### はじめに

前号より始めました連載「試聴室探訪記」、おかげさまで谷口氏の素晴らしい写真に多くの反響がありました。このページの担当編集委員として厚く御礼申し上げます。前回もお知らせいたしましたように、今後はメーカーや販売店の試聴室だけでなく、会員読者のリスニングルームやご愛用のオーディオ装置などもご紹介したいと考えております。是非、会員の皆様のお申し出をお待ちいたしております。ご希望の方は部屋と装置の概要がわかる写真を JAS 編集事務局までお送りください。



今回は、編集会議で「まず隗より始めよ」との仰せがあり、私のリスニングルームをご紹介することになりました。谷口氏のフォトマジックで実物以上に出来上がっております。

室内のオーディオ装置につきましては、その機器にカーソルをあてていただくとメーカー名、機種名が表示されます。

### 那須の林の中の手作りリスニングルーム

私は、高校時代に LP の音に魅せられ、大学時代はオーディオ部の部室にこもり、卒業後はレコード会社、カートリッジ専門メーカー、そして大手電気メーカーで一貫してオーディオを担当してきました。文字通り自分の人生の大半をオーディオと共に歩んできました。定年退職後は、生業であったオーディオを趣味に戻し、いつでも好きな音を出せるそんな環境を持つことが夢でもありました。また、定年後は田舎でのんびりと暮すと言う漠然とした希望も持っていたのです。

夢と希望は持つものです。偶然のことから海外の友人からログハウスの部材を譲り受けることになりました。しかし家を建てるほどの予算はありません。ならば自作でと無謀にもログハウス建築にチャレンジをしたのです。幸い那須の山林を安く購入することができ、私とパートナーで木々を伐採し小屋が建つスペースを確保しました。整地も友人がユンボを借り出してくれて見事に均してくれたのです。これで、あとは時間をかけてゆっくりと小屋を建てるという計画でしたが、それはとんでもないことだったのです。ログハウスといっても7メートルを超えるログ材の積み上げは素人が何人かかっても手に負えないことが判明。さらに山林を俄かに整地しただけで

は基礎がもたない、などなど問題続出でした。

結局、基礎とログ材の積み上げ、そして屋根掛けだけは専門家に頼みました。しかし、その他の部分、窓やドアなどの建具の取り付け、ロフトの建築、内部の部屋割り、間仕切り、床、天井、そして屋内の電気配線、ストーブなどの暖房設備、キッチン回りなど、設計・施工は全て自分たちで工事をおこないました。おかげで、オーディオ機器などは壁の中に埋め込んだり、中二階にスピーカーを設置したり、自由に設計することができました。CD ラックや大半の家具も自作です。

写真では拡大することもできますので、近寄って観察すると素人細工のアラが見えます。

この小屋内部はトイレ以外ドアがありません。つまりすべての部屋は音響的に一つの大きなスペースとして考えています。ロフトとの間も階段部、と2箇所の吹き抜けで音は自由に飛びまわっています。この家の着工から完成まで、実に8年を要しましたが、日曜大工ならぬ、土日祝プラス $\alpha$ 大工として、少しは自慢できる腕前になりました（笑い）。

「石の上にも三年」といいますが、「林の中の八年」、オーディオの楽しみに加え、いまでは大工の楽しみを満喫しています。この写真には写っていませんが、この部屋で愛用しているもう一つのスピーカーはSONYのSS-A5です。

（編集委員 森 芳久）

## パノラマ画面の操作説明

- パノラマ写真は、[ここ](#)か、**前ページの画像**を、ctrl キーを押しながらクリックしてご覧ください。
- スピーカー等、カーソルをあてていただくとメーカー名と機種名が表示されます。
- マウス操作で、画面を上下・左右 360 度、自在に回転してご覧いただけます。
- 画面下にある操作ボタンで次の操作ができます。
  - + 画面のズームイン
  - 画面のズームアウト
  - ← 画面の左移動
  - 画面の右移動
  - ↑ 画面の上方向への移動
  - ↓ 画面の下方向への移動